

編集後記

母校創立八十周年記念祝賀行事の一環として、写真集「織維教育八十年」の発刊が企画され、その編集が私達にゆだねられたのは今春のことである。本年は、たまたま本校の専門学校時代としての四十年間と、大学に昇格してからの四十年間が、ほぼ互いに相い半ばする極めて意義深い時期にあたり、また、本学同窓会が、社団法人千曲会としてスタートしてから、丁度五十周年という記念すべき年でもあり、これを契機として、開校以来今日までの貴重な歴史を、目で見える記念誌のかたちで、記録にとどめることになった。今までも、こうした記念行事は何回かおこなわれたが、二百数十頁からなる写真集の刊行は今回が初めてである。当初は、全く手探りのにスタートしたが、基本的には、この辺で今後次第に散逸するおそれのある過去の貴重な歴史的資料の蒐集記録に重点をおいた。幸いにして、本校草創期の実態を克明に記録した写真乾板（撮影

者不明）が、大量に学内に保存されているのが発見され、今回ほぼその全容を公開する機会がえられたことは、編集委員一同この上ない幸運として、先人の遺業に感謝している。ただし、前半、草創期の記述に可成りのスペースをさいいたため、後半は圧縮せざるを得ず、収録できない写真も多かった。これも前記趣旨によるものであり、不十分な点はご了承いただきたい。また、各時代別の資料を蒐集して特に感じたことは、明治、大正、昭和特に戦前の写真機材の入手もままならぬ時代に作成された卒業アルバムが、実に豪華でしかも極めて克明なものが多かったのに反して、戦後特に大学になってから現在までの過程は、総ての物資の豊かさとは逆に、何時でも撮れると言った安易さがわざわざいしてか、これとおぼしきまともな記録が少ないのに気付く、いささか寂しさを禁じえなかった。なお、今回の写真集編集にあたって、本校の歴史と殆んど同世

編集理事 青沼 茂・山浦 和男
編集委員 坂口 育三・土屋 幾雄
三石 賢・関口 定
小笠原真次・小林 勝
小林 俊一・小山 俊樹

代を、写真一筋に精進を重ねられた柴崎高陽先生のご指導を願う予定であったが、この写真集の発刊をまたずに、去る六月二十七日八十七歳の生涯を終えられてしまったことはかえすがえすも残念である。せめても先生の遺業をしのび、感謝の意を捧げるために、柴崎先生の遺作の一部を拝借し掲載させていただいた。最後に、この写真集の編集にあたって、貴重な写真資料を快く提供された大勢の方々に心からお礼申し上げる。また、本写真集の出版に絶大なご支援ご協力をいただいた（株）柳沢印刷所次長高橋公一、企画制作にあたられた三橋秀年、丸山義正の各氏に深謝する。今日ようやく発行をみるにいたったが、編集期間が短か過ぎたため、まことに不出来のそしりをまぬがれないが、この写真集がみなさまの心に温古と飛躍の影を映ずる礎石となり得れば幸いである。

平成二年九月